

水産分野の研究成果

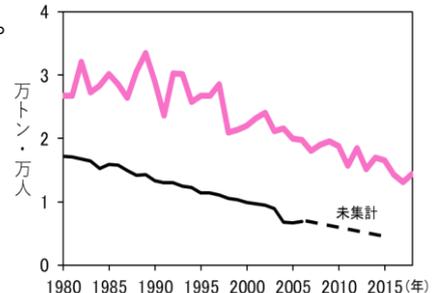


コンブを上手に増やして美味しく食べる
一浜と食卓をつなぐ生産・利用技術の高度化

水産研究本部

背景・目的

- ・北海道のコンブ生産量は全国の9割を占めるが、近年は減産傾向にある。
- ・減産の背景には、資源の減少、重労働や過疎・高齢化にともなう労働力の減少、化学調味料の普及による出汁コンブの消費低迷などがある。
- ・コンブ資源を回復させるため、コンブが生育しやすい環境条件を割り出し、効率的に漁場の造成や管理を行う技術開発を目指した。
- ・コンブ消費拡大のため、出汁用途以外での食べ方ができる製品の開発を目指した。



北海道のコンブ生産量(—)と採藻着業者数※1(---)の変化

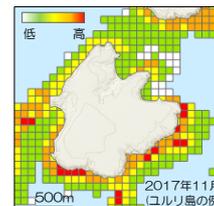
<用語の解説>

※1 採藻着業者数：海藻（コンブ含む）を採取する漁業経営体の数。

成果

コンブの生育しやすい環境をマッピング！コンブのペースト化技術を開発！

- ・実験室での培養試験により、ナガコンブの生長・成熟と環境要素（水温・光量・栄養塩濃度・流速など）との関係を明らかにした。
- ・根室市沿岸で海洋環境観測を行い、天然コンブの生育に適した環境条件や遊走子※2の出現状況を把握した。
- ・これらのデータをGIS（地理情報システム）によりマッピングすることで、コンブの生育適地を明らかにし、漁場造成・管理を効率的に行う技術を開発した。
- ・利用技術については、早採り（間引き）マコンブを、調味料やバターなどの加工品に利用できるペースト状の素材に製造する技術を開発した。



コンブの生育適地マップ
(国立研究開発法人水産研究・教育機構との共同研究)



ペーストの製造装置



ペーストを活用した製品

<用語の解説>

※2 遊走子：コンブから放出される胞子。

成果の活用

コンブの効率的な漁場造成による生産回復と消費の拡大に活用！

- ・コンブの生育適地マップを活用することで、そこに繁茂する雑海藻（コンブ生育に競合する海藻）を効率的に駆除できるようになった。
- ・得られた成果や適地選定技術を他海域のコンブ漁場に展開し、道産コンブの生産回復に活用する。
- ・コンブペーストを利用した食品を企業と連携して開発し、コンブの消費拡大につなげていく。



海底に繁茂する雑海藻



豊かなコンブの群落



ピザ生地にコンブペーストを混ぜた商品

写真提供：高橋水産（株）

問い合わせ先：水産研究本部 企画調整部 企画グループ（TEL：0135-23-8705）

